



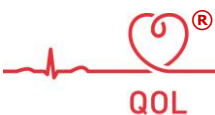
WIN A BETTER QUALITY OF LIFE
INNOVATION
PARTNERSHIP
TRUST

SAFETY
CREATE VALUE

LEADERSHIP
HEALTHY SOCIETY

2018年3月期 決算説明資料

ウイン・パートナーズ株式会社 (3183)
代表取締役社長 秋沢 英海



2018年3月期 決算概要

2018年3月期実績

(単位：百万円)

	前期	当期	前期比	計画
売上高	57,760	62,832	+8.8%	63,100
営業利益	3,058	3,144	+2.8%	3,250
経常利益	3,061	3,148	+2.8%	3,250
当期純利益	2,141	3,005	+40.4%	2,914
1株当たり当期純利益(円)	74.58	104.69	—	101.50
1株当たり純資産(円)	539.69	618.79	—	—

2018年3月期の主な取り組み

◆ マルチ・スペシャリティ化支援の推進

CVSがPCI、CRSに続く柱に成長

◆ 新規顧客開拓

第2四半期から首都圏の大型施設と新規取引開始

◆ 大沢商事（現 テスコ秋田販売）[※]の連結

下期から連結取り込み。東北でのシェア拡大へ

※2017年11月1日に社名変更

決算のポイント

売上高 ^{前期比} + 8.8% (^{計画比} ▲0.4%)

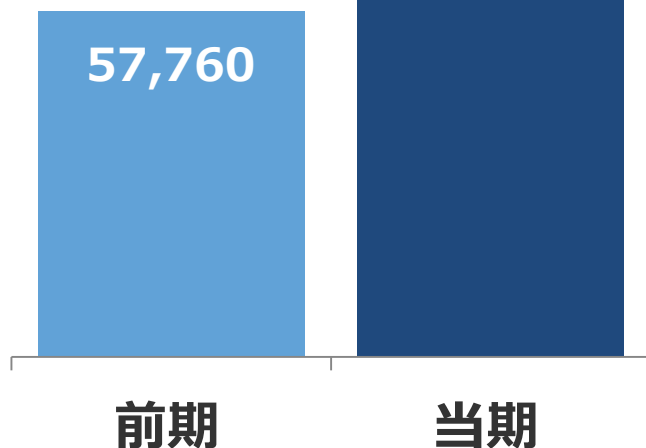
テスコ秋田販売を除くと+6.0%

(単位：百万円)

既存顧客好調

新規大型施設の獲得も寄与

大型機器以外は増収



分類別売上高の状況

	金額 (百万円)	前年同期比 (%)		売上高構成比	
		数量	金額	比率 (%)	増減 (pt)
虚血性心疾患関連 (PCI)	22,992	+6.5	+6.8	36.6	▲0.7
心臓律動管理関連 (CRS)	15,130	+10.1	+11.8	24.1	+0.6
心臓血管外科関連 (CVS)	8,322	+16.5	+24.7	13.2	+1.7
末梢血管疾患関連 (PPI)	3,239	+18.6	+13.7	5.2	+0.2
脳外科関連	2,164	+1.2	+9.9	3.4	+0.0
糖尿病関連 (DMS)	1,204	-	+26.4	1.9	+0.3
大型医療機器関連	3,948	-	▲24.9	6.3	▲2.8
その他	5,830	-	+16.7	9.3	+0.6
合計	62,832	-	+8.8	100.0	

分類別売上高ハイライト(対前期)

PCI

症例数の増加に伴う販売数量の増加

CRS

MRI対応ペースメーカーが2桁増収

アブレーション関連も10%増収

CVS

TAVIの症例数が大幅増加、関連製品の売上倍増

ステントグラフトおよびバイパス手術関連も好調

PPI

PTAバルーンカテーテルが2桁増収

大型医療 機器関連

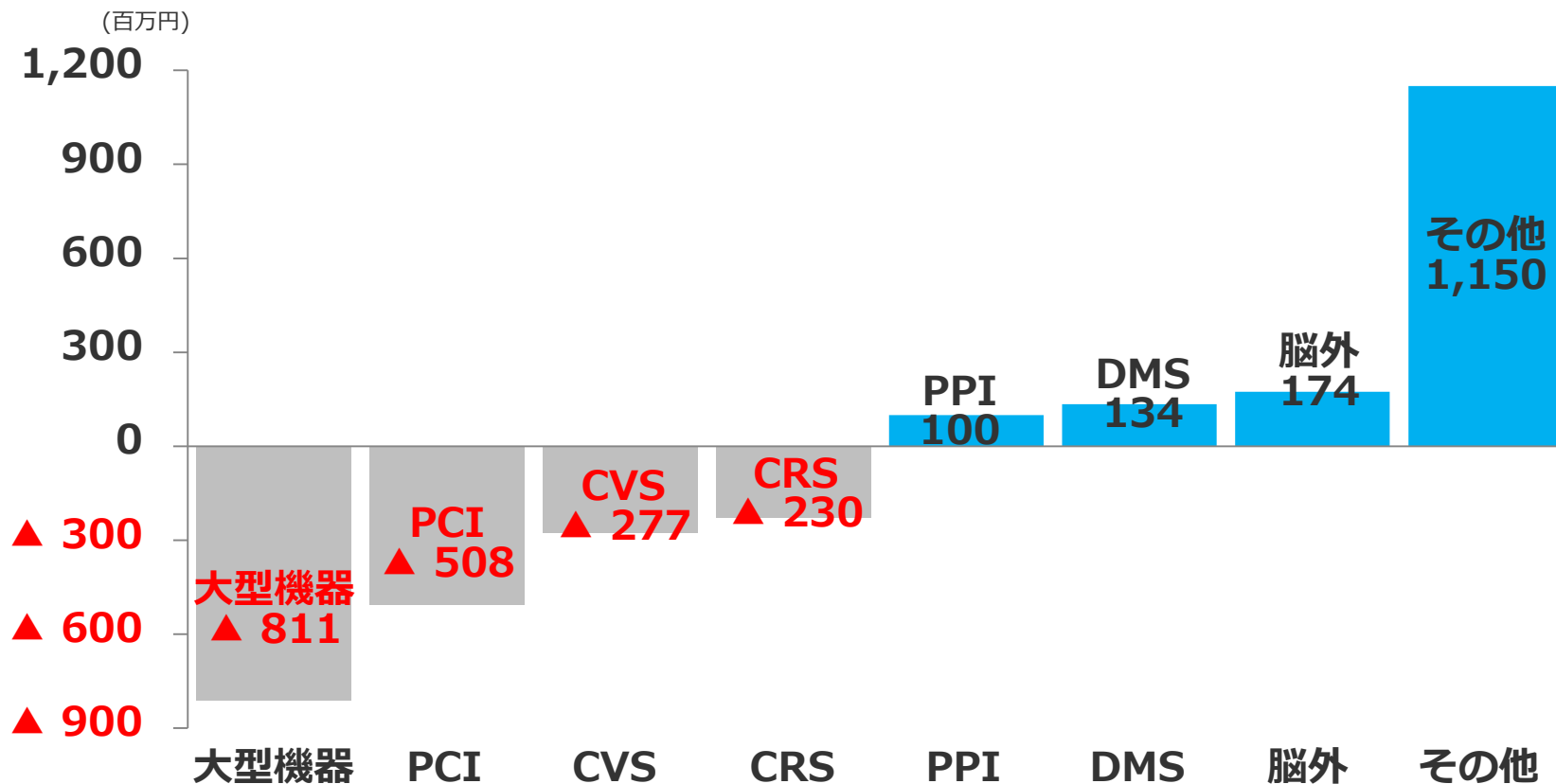
東北の復興需要関連の大型案件が一巡し、減収

その他

テスコ秋田販売の透析関連売上の上乗せ

分類別売上高ハイライト(対計画)

合計：▲268(百万円)



・首都圏の
案件で見込
み違い

・新規顧客
獲得の遅れ

・TAVIの大
幅増も中間
期の修正計
画は未達

・既存顧客
の計画未達

・既存顧客
が好調

・血糖測定
器の新製品
が寄与

・既存顧客
が好調

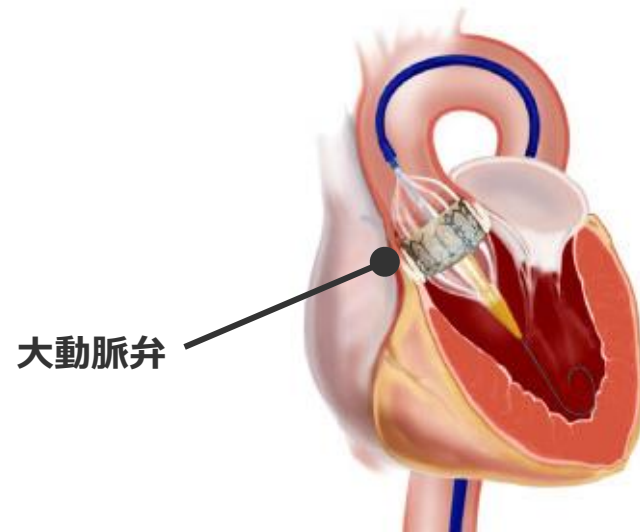
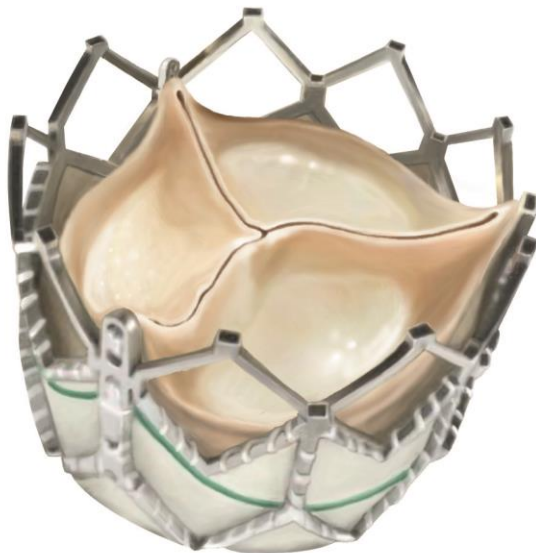
・小型の医
療機器、小
物等が上振
れ

CVSハイライト

TAVI(経カテーテル大動脈弁留置術)が急拡大

認定施設となる顧客が増加し新たな成長領域に

TAVI用生体弁



【大動脈弁狭窄症】

カテーテルで生体弁を大動脈弁の位置に留置

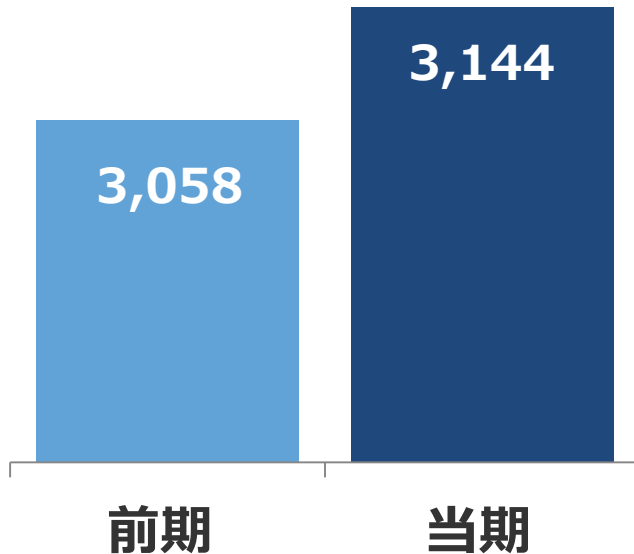
決算のポイント

営業利益 ^{前期比} + 2.8% ^{計画比} (▲3.3%)

売上総利益率 12.8% (-0.3pt)

- ・ PPIで改善した一方、CVSと大型機器で悪化
- ・ 一括買取り効果も一巡し、計画未達

(単位：百万円)



販売管理費 +9.1% (テスコ秋田販売除くと+5.3%)

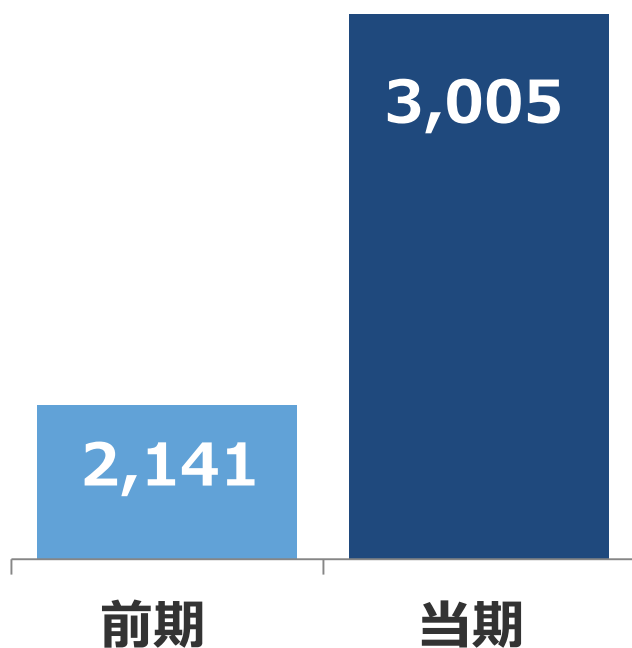
うち人件費は +7.5%

〔人員数〕前期末 447名 → 当期末 517名

決算のポイント

当期純利益 ^{前期比} +40.4% ^{計画比} (+3.1%)

(単位：百万円)



テスコ秋田販売の負ののれん
発生益6.8億円を計上

連結損益計算書

	前期		当期	
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売上高	57,760	100.0	62,832	100.0
売上原価	50,208	86.9	54,787	87.2
売上総利益	7,551	13.1	8,044	12.8
販売管理費	4,493	7.8	4,900	7.8
営業利益	3,058	5.3	3,144	5.0
営業外収益	4	0.0	9	0.0
営業外費用	0	0.0	5	0.0
経常利益	3,061	5.3	3,148	5.0
特別利益	6	0.0	734	1.2
特別損失	0	0.0	55	0.1
税前利益	3,067	5.3	3,826	6.1
税金費用	926	1.6	821	1.3
当期純利益	2,141	3.7	3,005	4.8

連結貸借対照表

	2017年3月末		2018年3月末		増減 (百万円)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)		
流動資産	30,395	91.6	33,181	91.7	2,786	テスコ 秋田販売 4億円含
現金・預金	11,954	36.0	13,317	36.8	1,362	
売上債権	15,597	47.0	17,377	48.0	1,780	
商品	1,862	5.6	1,646	4.6	▲215	
その他流動資産	980	3.0	840	2.3	▲140	
固定資産	2,792	8.4	3,007	8.3	214	
資産合計	33,187	100.0	36,188	100.0	3,000	テスコ 秋田販売 1.5億円含
流動負債	16,964	51.1	17,635	48.7	671	
仕入債務	15,765	47.5	16,388	45.3	623	
未払法人税等	486	1.5	485	1.3	0	
その他流動負債	712	2.1	760	2.1	47	
固定負債	729	2.2	789	2.2	59	テスコ 秋田販売 6.5億円含
負債合計	17,694	53.3	18,424	50.9	730	
純資産合計	15,493	46.7	17,764	49.1	2,270	
負債・純資産合計	33,187	100.0	36,188	100.0	3,000	

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前期	当期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,386	1,343
税金等調整前当期純利益	3,067	3,826
減価償却費	249	261
投資有価証券売損益 (▲は益)	-	▲38
負ののれん発生益	-	▲684
売上債権の増減額 (▲は増加)	▲460	▲1,393
たな卸資産の増減額 (▲は増加)	▲378	365
仕入債務の増減額 (▲は減少)	2,278	▲49
法人税等の支払額	▲1,217	▲927
その他	▲151	▲16
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲128	764
有形固定資産の取得による支出	▲126	▲198
固定資産の売却による収入	20	115
投資有価証券の売却による収入	-	280
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	604
その他	▲21	▲37
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲588	▲746
配当金の支払額	▲588	▲746
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	2,669	1,362
現金及び現金同等物の期首残高	9,285	11,954
現金及び現金同等物の期末残高	11,954	13,317

2019年3月期の見通し

2018年診療報酬改定のポイント

① 保険償還価格の改定

- 当社グループへの影響は
平均 ▲**5.9%** (対売上高)

② 2025年病床再編への布石

- 急性期病床の入院基本料 (7対1、10対1) を細分化
- 地域包括ケア病棟 (13対1) の評価体系見直し

① 償還価格改定:売上高への影響

分類	影響度 (%)
虚血性心疾患関連 (PCI)	▲10.6
心臓律動管理関連 (CRS)	▲5.5
心臓血管外科関連 (CVS)	▲0.9
末梢血管疾患関連 (PPI)	▲7.3
脳外科関連	▲2.0
その他	▲0.3
全体	▲5.9

(2018年3月期の売上構成比・数量ベースでの試算)

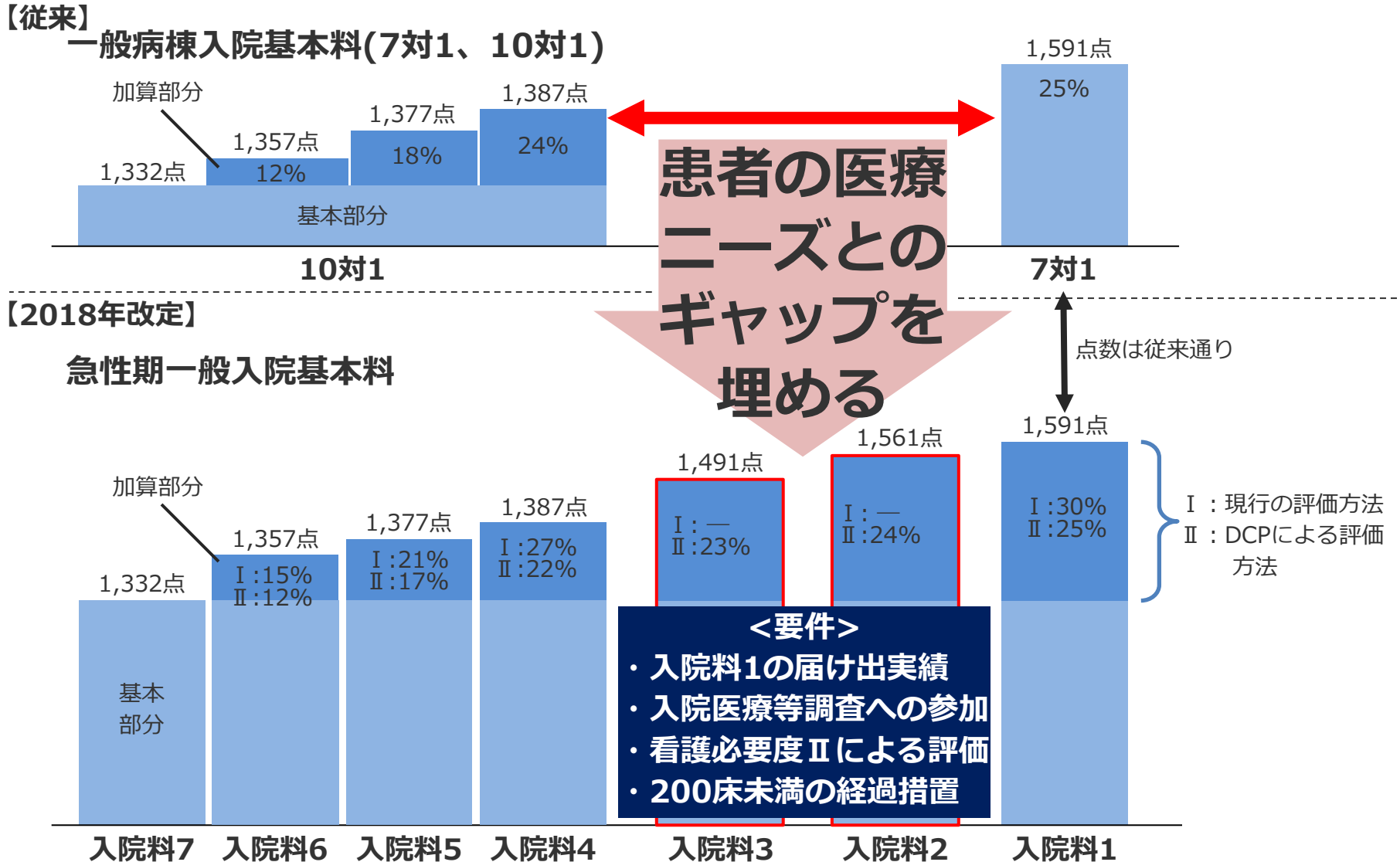
主要製品の償還価格

分類	製品分類	特定保険医療材料の償還価格(千円)		増減率(%)
		2016年	2018年	
PCI	PTCAバルーンカテーテル	59	45	▲23.3
	DES	226	193	▲14.6
	IVUS	100	89	▲10.5
CRS	ペースメーカー	739	831	12.4
	ペースメーカー(MRI対応型)	986	831	▲15.7
	ICD	2,890	3,040	5.2
	ICD(MRI対応型)	3,300	3,040	▲7.9
	CRTD	4,140	4,140	0.0
	CRTD(MRI対応型)	4,500	4,140	▲8.0
	皮下植込型除細動器(S-ICD)	3,060	3,060	0.0
	ABLカテーテル	143	133	▲7.0
	冷凍ABLカテーテル	637	637	0.0
CVS	ステントグラフト(腹部)	1,310	1,300	▲0.8
	オープン型ステントグラフト	1,090	1,090	0.0
	TAVI用生体弁(バルーン拡張型)	4,430	4,430	0.0
	TAVI用生体弁(自己拡張型)	3,670	3,670	0.0
PPI	PTAバルーンカテーテル	67	60	▲10.4
	末梢血管用ステント	188	179	▲4.8

※ペースメーカー、ICD、CRTD → MRI対応・非対応の区別なく一つの区分に統一

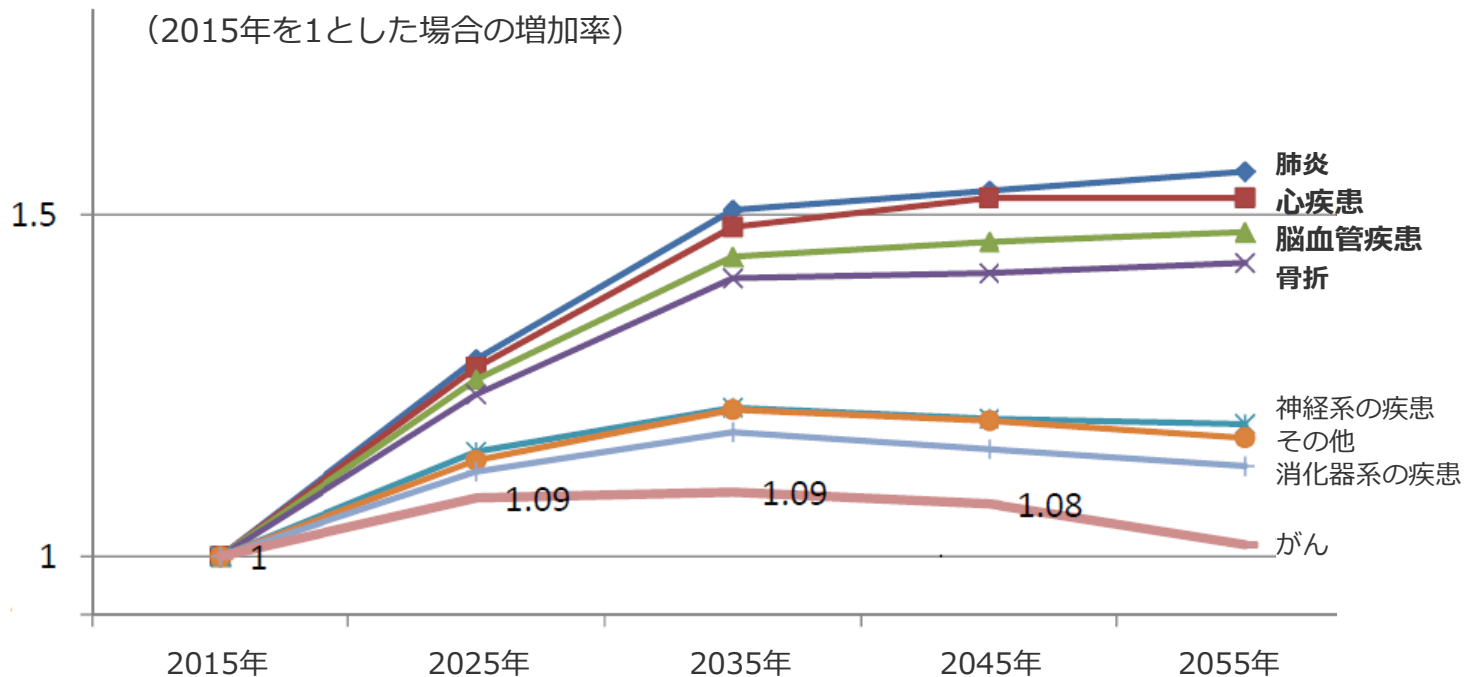
② 病床再編への布石：入院基本料

患者の状態に応じた医療資源の投入を目指す



入院患者の将来推計

高齢者の増加により
心疾患、脳血管疾患、肺炎、骨折が増加



出典：第347回 中央社会保険医療協議会 総会(2017/3/15) 資料

顧客の状況

急性期病院の多くは**従来**の入院医療
(7対1) 機能の維持を希望

⇒ 心疾患、脳血管疾患の患者をより多く受け
入れ、要件（在院日数、看護必要度等）を
満たしていく見通し

今期の重点施策

✓ 制度変更、地域医療構想に合った顧客の成長支援

- 急性期医療機能の強化支援
- 患者数・症例数の増加支援

✓ 粗利益率改善

- トップシェアを活かした購買戦略
数量コミットメント
在庫リスク（置き薬方式）の段階的な見直し

顧客支援の具体例

顧客病院のマルチ・スペシャリティ化 や地域センター化をサポート

- ① 他科への進出提案 : 循環器内科 ⇒ 心臓外科
- ② 治療領域の拡大提案 : TAVI、アブレーション
- ③ 医療施設間連携サポート : 患者および医師の紹介
- ④ 医師の研修サポート : 国内およびインド

PMI：テスコ秋田販売

テスコによる吸収合併（7月予定）

- ✓ 今期売上高は30億円超の見込み
- ✓ テスコとの一体運営で、利益貢献を目指す



2019年3月期 通期予想

2019年3月期

金額 (百万円)

前期比 (%)

百分比 (%)

売	上	高	67,000	+6.6	100.0
営	業	利	3,200	+1.8	4.8
経	常	利	3,200	+1.6	4.8
当	期	純	2,300	▲23.5	3.4
		益			

1株当たり当期純利益(円)

80.12

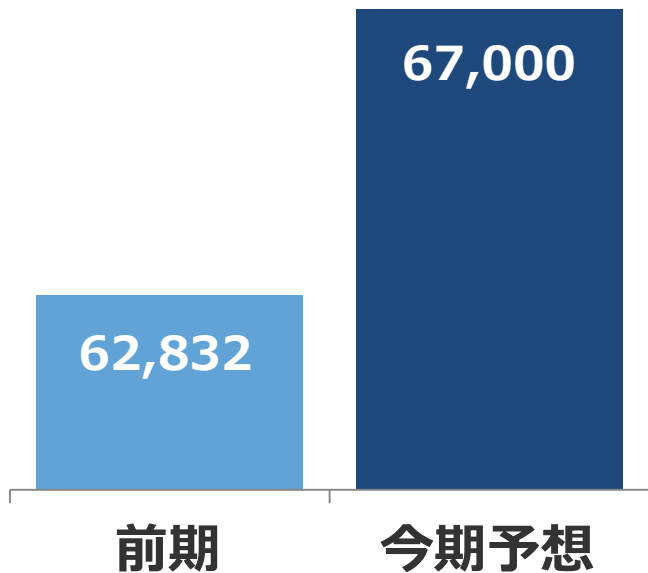
1株当たり配当金 (円)

30.00

業績予想のポイント

売上高 ^{前期比} +6.6%

(単位：百万円)



既存顧客の深耕

- ・ 院内開拓、取引量の拡大

新規顧客の獲得

- ・ 大学病院グループ
- ・ 地域中核病院
- ・ 糖尿病関連施設

テスコ秋田販売を除くと
実質+4%

分類別売上高見通し

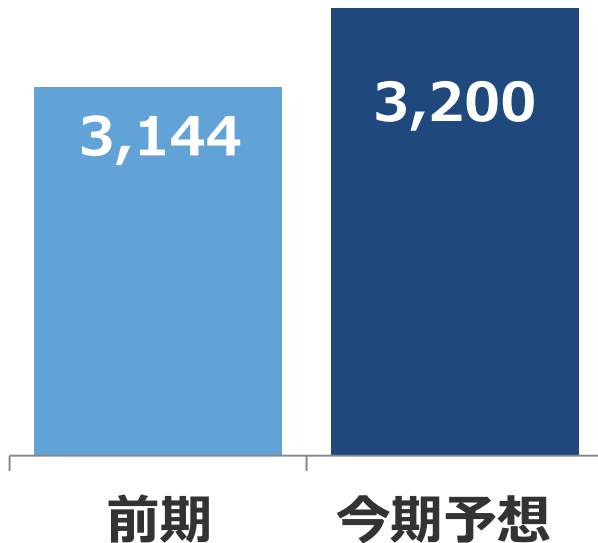
(単位：百万円)

	金額	前期比	構成比
虚血性心疾患関連 (PCI)	23,110	+0.5%	34.5%
心臓律動管理関連 (CRS)	16,810	+11.1%	25.1%
心臓血管外科関連 (CVS)	9,480	+13.9%	14.1%
末梢血管疾患関連 (PPI)	3,310	+2.2%	4.9%
脳外科関連	2,180	+0.7%	3.3%
糖尿病関連 (DMS)	1,580	+31.2%	2.4%
大型機器関連	4,400	+11.4%	6.6%
その他	6,130	+5.1%	9.1%
合計	67,000	+6.6%	100.0%

業績予想のポイント

営業利益 前期比 **+1.8%**

(単位：百万円)



売上総利益率 **13.1%** (前期比 **+0.3pt**)

- ・販売数量拡大、価格交渉による改善
- ・主力のPCI, CRS, CVSの利益率改善

販売管理費 **+13.3%**

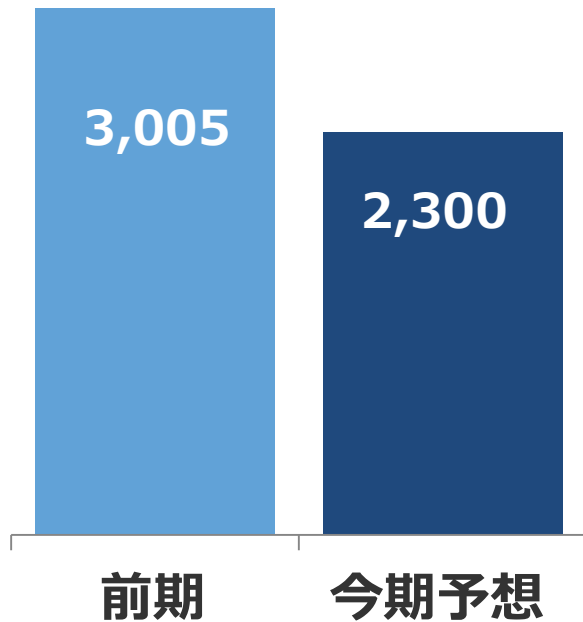
- ・テスコ秋田販売除くと+10%
- ・グループ人員計画 前期末 **517**名 ⇒ **561**名

業績予想のポイント

当期純利益 前期比 ▲23.5%

前期の負ののれん発生益の反動

(単位：百万円)



設備投資 **1.5**億円
(前期実績 **1.9**億円)

減価償却費 **2.2**億円
(前期実績 **2.6**億円)

配当方針

業績、経営基盤の強化および
将来の事業展開等を総合的に勘案しながら

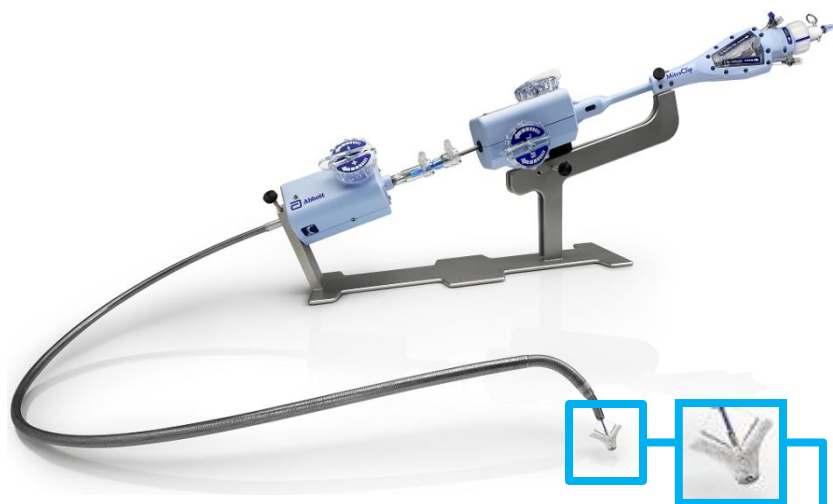
配当性向**30%**以上を目指します

2019年3月期 配当金予想

期末**30**円（配当性向
37%）

(参考) 今後の新製品 (CVS)

アボット製 「MitraClip[®] NTシステム」



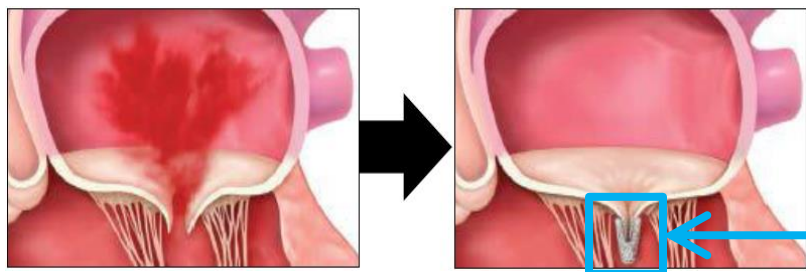
胸を切らずにカテーテルを使用し閉じなくなった僧帽弁をクリップで接合するシステム

2017年11月：承認

2018年04月：保険適用

※ Mitral Regurgitation(僧帽弁閉鎖不全症)

心臓の4つの弁の1つである僧房弁が閉じなくなり
血液が逆流してしまう症状



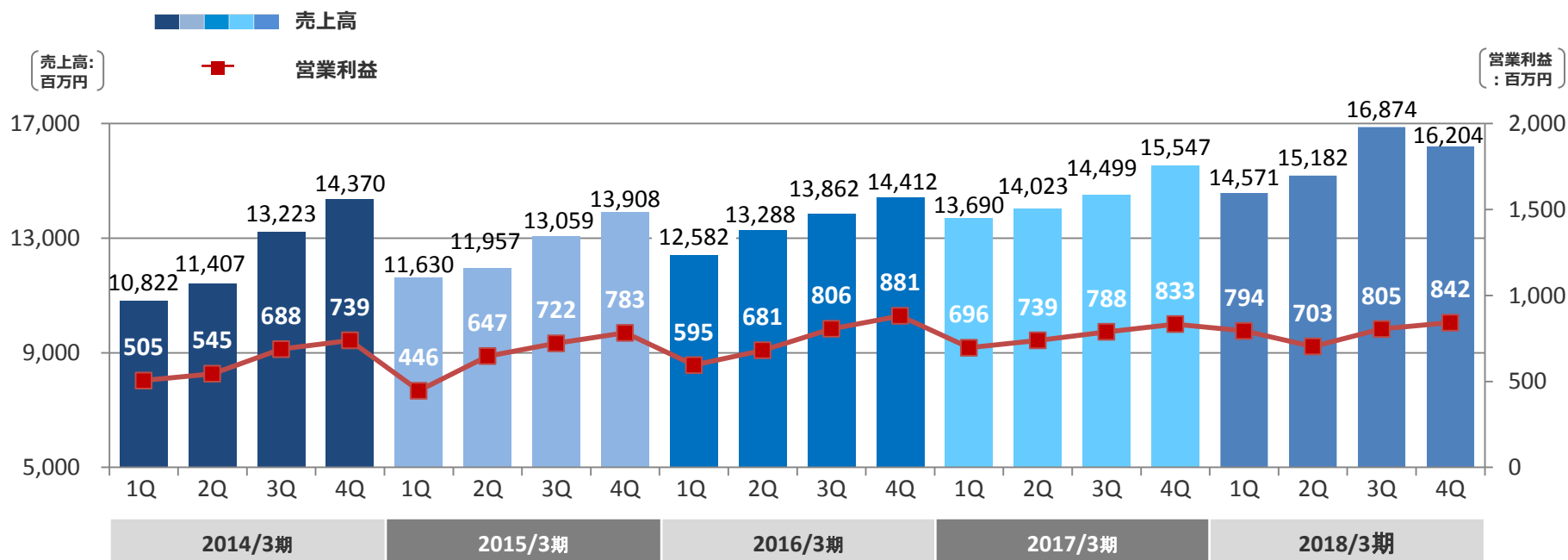
(画像提供: アボットバスキュラー)

(参考) 主要取扱製品

分類	主な疾患	主な医療機器			
PCI	<ul style="list-style-type: none"> ・狭心症 ・心筋梗塞 	PTCAバルーンカテーテル	薬剤溶出型ステント (DES)	血管内超音波診断カテーテル (IVUS)	
					
CRS	<ul style="list-style-type: none"> ・不整脈 	ペースメーカー	植込型除細動器 (ICD)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器 (CRTD)	心筋焼灼術用カテーテル
					
CVS	<ul style="list-style-type: none"> ・大動脈瘤 ・大動脈弁狭窄症 	ステントグラフト	経カテーテル的大動脈弁留置術 (TAVI)用生体弁	機械弁	
					
PPI 脳外科	<ul style="list-style-type: none"> ・下肢閉鎖性動脈硬化症 	末梢血管用ステント	頸動脈用ステント	塞栓用コイル	
					
DMS 大型医療機器	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病 ・検査 	インスリンポンプ	移動式X線撮影装置	磁気共鳴画像診断装置(MRI)	
					

(参考) 四半期業績推移

売上高／営業利益の推移(四半期)



■ = 償還改定期

株価推移

(単位:円)





WIN PARTNERS
WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

ロゴマークについて

幸せの象徴、青い鳥が向かい合ってつくる「W」
それは私たちの頭文字であり、企業や人とのパートナーシップを表しています。
三角形はひとつひとつの企業を表し、より良い社会に向けて自在に形を変え、
進化しながら高みを目指す私たちの企業姿勢を伝えます。

この資料は投資家の参考に資するため、ウイン・パートナーズ株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。
当資料に記載された内容は、2018年5月23日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料に関するお問合せ先
ウイン・パートナーズ株式会社 社長室
TEL : 03-3548-0790 FAX : 03-3548-0791
HP : <http://www.win-partners.co.jp>